

トルコ為替週報

2023年5月10日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去1週間の動き＞

(5月3日～5月9日)

USD/TRY: 19.3106～19.7220

TRY/JPY: 6.60～7.19 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は対ドルで続落。5月14日投開票のトルコ大統領・議会選挙まで1週間を切った。大統領選挙に関する各種世論調査では野党統一候補のクルチダルオール氏が優位に立っている。大統領選は一回目の投票で過半数を獲得する候補がいなかった場合、5月28日に上位2名の決選投票が行われるが、世論調査を見る限りはクルチダルオール氏が一回目の投票で勝利を決定づける可能性も排除できない情勢だ。もちろん、2018年の大統領選挙では決選投票にもつれ込むという下馬評を覆す形でエルドアン大統領が第一回目の投票で圧勝したため、結果を見るまでは分からないものの、2003年に政権を奪取して以降、選挙で負けなしのエルドアン氏にとってこれまで以上に激しい選挙戦になっていることは確かであろう。

そのクルチダルオール氏に対するブルームバーグによるインタビューが5月9日に公表された。インタビューの中で、クルチダルオール氏はトルコの経済指標は作成プロセスが透明ではなく、正確ではないと批判し、自身が大統領選挙で勝利した場合には不正が行われていないか調査を行うと表明している。クルチダルオール氏の批判はトルコ統計局に留まらず、トルコ中央銀行やイスタンブール取引所にも及んでいる。

実際に政権交代が起こったとして、経済統計が虚偽であったと新政権が公表すれば、2009年のギリシャや2018年のマレーシアの事例を彷彿とさせるものとなる。とりわけギリシャの場合はユーロ加盟に求められる基準を実は満たしていなかったことが明らかとなり、ユーロ圏を巻き込んだ国際金融市場の波乱につながった。トルコの場合、国際金融市場への波及はそれほど大きなものとはならない公算が大きい、インフレ率や外貨準備といった通貨のファンダメンタルズを見極めるうえで重要な統計に追及が及ぶ可能性がある。従来より、トルコの外貨準備は、実際に為替介入に使用可能な外貨準備は公表されているよりもはるかに少ないのではないかという見方が根強い。トルコのように多額の経常赤字を抱える国にとっては、持続的な経済発展のために海外からの資金流入が必要不可欠である。経済統計の信頼性は海外企業・投資家の意思決定にとって重要であり、政権交代を機に経済統計の作成プロセスにメスが入るとすれば、早期に信認回復につながられるかが焦点となる。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/3	08:00	CPI(前年比)	4月	44.1%	43.68%	50.51%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(5月10日～5月16日)

USD/TRY: 19.30～22.00

TRY/JPY: 6.00～7.10

大統領・議会選挙まで1週間を切り、市場で予想されているリラの値動きの大きさを示すインプライド・ボラティリティ(1か月物)は2018年8月のリラ急落時の水準へと押し上げられている。選挙のリラ相場への影響について、野党勝利なら中央銀行の独立性の回復と政策金利の大幅引き上げが織り込まれる形でリラ買い、という見方もある(選挙後の混乱が落ち着いたあとはそのような可能性は十分にある)。しかし、少なくとも直後の反応はいずれの勝利となったとしてもリラ下落となる公算が大きい。リラ安を抑制するために実施されている様々な政策(為替介入やリラ預金の保護策など)の持続性には疑念が持たれる状況のためだ。選挙後に為替市場へのリラ安抑制のための一連の規制措置が緩和されるようであれば、これまで溜まっていたリラ売り/外貨買い需要が解放されるリスクがある。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

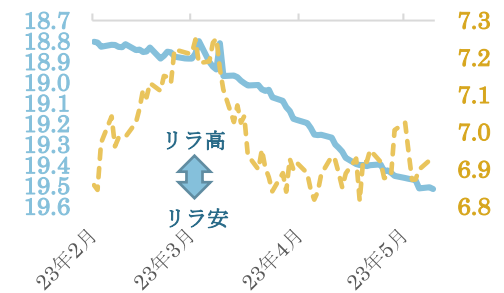
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/10	08:00	鉱工業生産(前年比)	3月	0.5%		-8.2%
5/10	08:00	経常収支(USD)	3月	-5.30b		-8.78b

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコ・リラの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

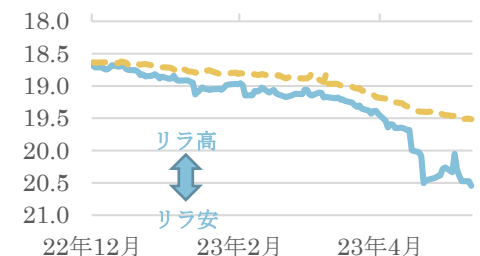
点線: 対円レート(右軸)



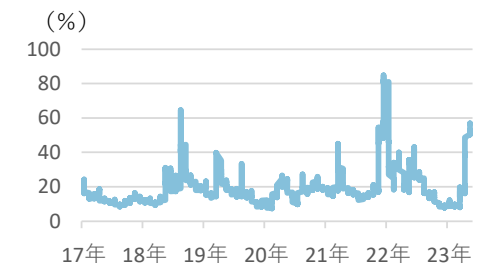
トルコ・リラの対ドル取引レート

点線: インターバンクレート

実線: グランド・パザールでの交換レート



トルコ・リラ 1か月インプライドボラティリティ



(資料: トルコ中銀/トルコ統計局/ブルームバーグ)

＜文責＞

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

2023年5月10日 | みずほ銀行欧州資金部

<トルコ大統領選挙(第一次投票) 世論調査結果>

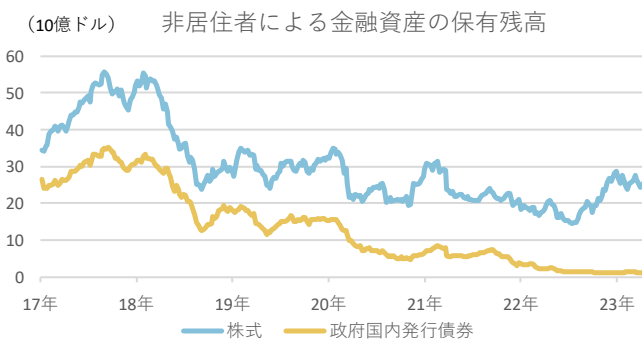
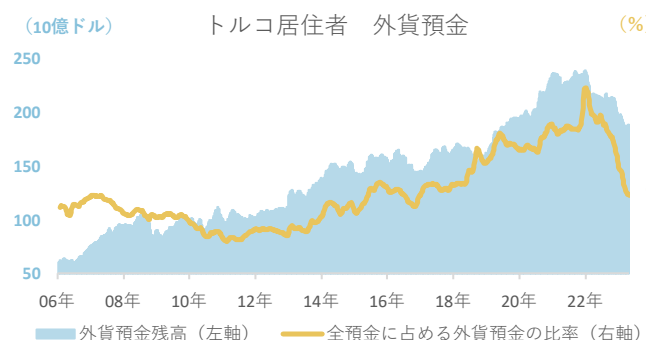
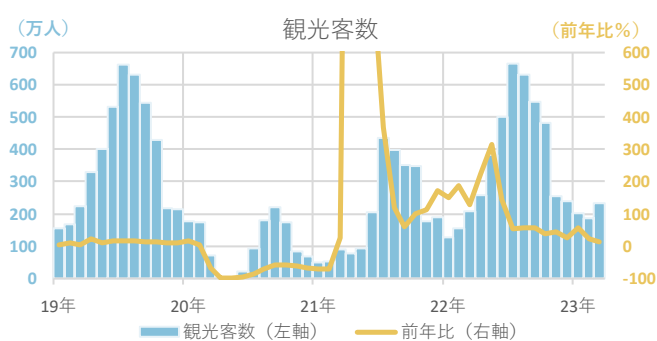
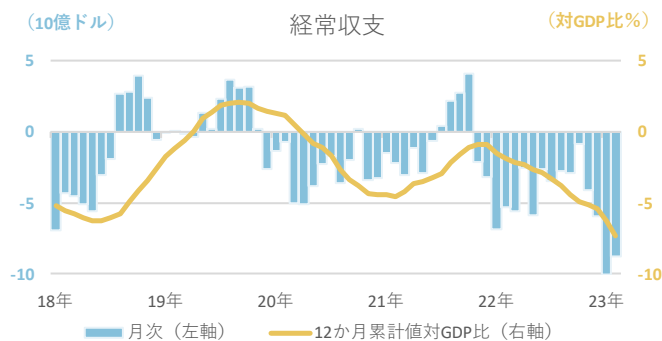
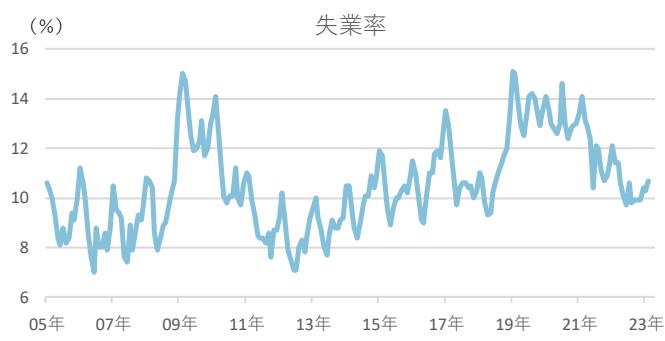
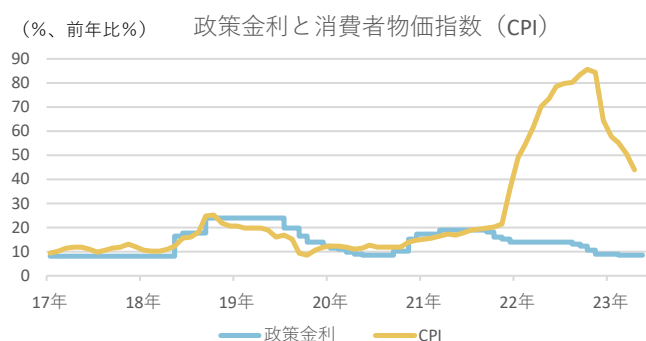
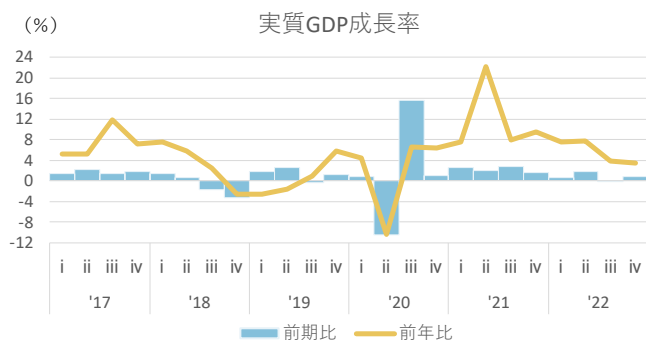
世論調査会社	調査日	エルドアン 大統領	クルチダル ール氏	インジェ氏	オアン氏
Avrasya	4月27日～5月5日	43.6	50.9	2.5	3
MAK	4月26日～5月4日	45.4	50.9	1.7	2
Areda	5月1日～5月3日	50.8	41.9	3.7	3.6
SONAR	4月27日～5月2日	48.8	44.1	3.6	3.5
ASAL	4月27日～5月2日	49.1	46.3	2.7	1.9
HBS	4月25日～5月2日	47.5	47	3.3	2.2
ORC	4月29日～5月1日	44.6	48	4.3	3.1
Yoneylem	4月27日～4月30日	42.5	48.6	3.7	5.2
SAROS	4月25日～4月30日	47.2	49.1	2.3	1.3
ADA	4月26日～4月29日	48.9	45.8	2.9	2.4
Optimar	4月25日～4月29日	48.6	44.1	4.3	3
Aksoy	4月26日～4月28日	41.9	47.3	5.8	5
Sosyo Politik	4月24日～4月28日	44.1	51.7	3	1.2
TEAM	4月23日～4月26日	44.4	47.4	6.1	2.1
TUSIAR	4月17日～4月25日	48.7	46.6	3.6	1.1
Artibir	4月17日～4月24日	43.7	49.4	4.5	2.4
Bulgu	4月15日～4月24日	41.5	49.5	6.5	2.5
Area	4月12日～4月20日	46.7	46.8	3.9	2.6
ALF	4月8日～4月12日	43.9	47.4	6.5	2.2
Metropoll	4月1日～4月3日	45.2	46.9	5.5	2.4
Gezici	4月1日～4月2日	43.2	53.4	2.1	1.3

注：白抜きは過半数の回答者が投票すると答えたケース。実際の大統領選挙で過半数の票を獲得した候補が出れば、その時点で当選が決定する。

過半数の票を獲得した候補がいなかった場合、5月28日に決選投票が行われる。

資料：各種報道/みずほ銀行

<主要経済指標の推移>



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。